

概要	新型コロナウイルス感染症の影響により、生活様式が一変した年でありました。 家庭用の使用水量が増える中、「安全」面では、大きな事故はなく、安定した供給が行われました。 「強靱」面では、天神原配水池更新工事の2年目を迎え、SUS製の配水池の据付が完了しました。 「持続」面では、令和元年度に締結した5年間の複合委託契約の履行開始。モニタリング支援業務についても委託し、受託者を監督しながらより強固な水道事業の運営を目指しています。
----	--

本ビジョンの施策	具体的な方策	R2取組状況
安全 安全な給水の確保		
(1) 水質管理の拡充	①水質検査計画に基づいた水質検査の継続 ②計器類(濁度計・残塩計)の整備	①水質検査計画に基づき実施、結果公表 ②未実施(時期を後年度に変更)
(2) 水安全計画の策定	①水安全計画の策定と運用	①近隣情報収集
(3) 貯水槽管理の強化	①貯水槽管理に関する情報提供の強化 ②貯水槽管理マニュアルの作成・配布	①未実施
(4) 給水装置管理の適正化	①指定給水装置工事事業者に向けた指導内容の検討	①給水装置設置工事指針(内規)策定
(5) 鉛製給水管解消への取り組みの強化	①鉛製給水管布設状況の調査 ②鉛製給水管解消に向けた対策の検討 ③鉛製給水管に関する情報提供の強化	①検満交換時等調査 ②漏水・改造申請時の交換 ③チラシによる広報
強靱 より安定した施設の構築・災害対策の推進		
(1) 老朽施設・老朽管路の計画的な更新	①老朽施設の更新 ②老朽管路の更新	①天神原配水池更新中、抜里配水池、小川中平配水池更新 ②老朽管路更新(旧上水道配水区、北部地区)
(2) 施設・管路の耐震化	①配水池及び地下水源施設の耐震化 ②管路の耐震化	
(3) 応急給水・応急復旧体制の強化	①BCPの策定とBCPに基づいた職員訓練の実施 ②資機材の確保 ③利用者参加型応急給水訓練の実施 ④災害用飲料水の確保に向けた広報 ⑤周辺事業者との連携の強化	①水道BCP策定、R3職員訓練実施予定 ②、④応急給水バック購入 ⑤近隣水道事業者との応急給水訓練、情報交換
(4) 渇水対策の強化	①渇水対策マニュアルの運用と見直し ②地下水源の定期的な維持管理	①情報収集中 ②R2計画なし
(5) 停電対策の強化	①自家発電設備燃料の確保 ②可搬式自家発電設備の配置検討	①燃料確保100% ②次年度の初倉第2水源への配置を検討
持続 施設の効率的な整備・運用・経営の健全化		
(1) 水需要に合わせた施設のダウンサイジング	①今後の水需要に合わせた施設能力の検討	①基本計画策定(R3~R12)
(2) 施設管理体制の効率化	①施設台帳システムによる管理の実施	①テストケース検討(R3作成予定)
(3) 漏水対策の強化	①漏水調査の実施 ②老朽管の更新	①湯日地区、神座地区実施
(4) 事業の統合に向けた取り組み	①簡易水道の上水道への事業統合に向けた整備	①抜里配水池、小川中平配水池整備、家山管路を実施
(5) 近隣水道事業者との広域連携に向けた取り組み	①広域連携に向けた協議への参加 ②周辺事業者との将来的な統合に向けた検討	①県主催の広域検討会、近隣市との勉強会実施 ②大井上水道企業団と交流事業実施
(6) アセットマネジメント及び経営戦略を踏まえた財源の確保	①アセットマネジメント及び経営戦略の運用と見直し ②適正な水道料金の検討	①決算、事業計画の変更に伴い収支計画を見直し ②R1に開始した料金改定審議会は、コロナウイルスの影響により中断
(7) 業務の効率化	①業務委託内容の見直し ②業務のマニュアル化	①浄水場管理、料金徴収業務の包括委託契約を開始 ②包括委託開始後の整備を計画
(8) 技術力の確保と継承	①OJTの実施 ②外部研修への参加 ③外部委託を活用した技術力の確保 ④大井上水道企業団との人事交流の検討	①新人向けOJT実施 ②オンライン研修等に参加 ③包括業務委託における外部モニタリング支援業務等、コンサルの活用 ④大井上水道企業団と合同グループワークを実施
(9) 広報・広聴の充実	①「広報しまだ」や水道独自の広報紙による情報の発信 ②浄水場見学や浄水講座の実施 ③広聴活動の実施	①水道課広報チラシ配布(8・9月)、広告モニター活用 ②コロナウイルス感染対策のため、施設見学の受入なし ③実施予定なし
(10) 環境に配慮した設備選定及び事業の実施	①エコアクション21の実施 ②浄水発生土・建設発生土の有効利用 ③高効率機器の導入	エコアクション21実施 浄水発生土有効利用率100%(ただし、令和2年度に浄水発生土処理なし)

事業名

1-(1) 水質管理の拡充 P35

年次計画	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	
	水質検査計画に基づいた水質検査の継続										
計器類(濁度計・残塩計)の整備											
粟原・石風呂											
数値目標	指標の名称						単位	現況	目標値		
								H27	R4	R9	
数値目標	・水質基準不適合率 =(水質基準不適合回数÷全検査回数)×100						(%)	0	0	0	
	・簡易水道における水質監視体制の整備数 =簡易水道における水質の24時間監視実施施設数						(箇所)	11	14	14	

実施内容
水質検査計画は毎年度ごと結果に基づき見直し更新、水質検査計画に基づき検査実施、結果公表
粟原と石風呂地区の濁度計等の整備についてはR3年度に実施予定、また、残塩計が設置されていない家山と身成地区については、R4年度以降に実施する予定

実施内容
水質基準項目不適合回数0回
R2年度に小川と中平地区が施設統合された。R3年度に粟原と石風呂地区の整備が完了すれば、水質監視体制の整備数は12カ所となり、残りの家山と身成地区をR4年度以降に整備する予定

1-(2) 水安全計画の策定 P35

年次計画	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
	水安全計画の策定と運用									
地下水源編 浄水場編等の その他簡易水道ごとに順次策定、見直し										

実施内容
近隣市町の情報収集中、未実施

1-(3) 貯水槽管理の強化 P37

年次計画	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
	貯水槽管理に関する情報提供の強化									
貯水槽管理マニュアルの作成・配布										

実施内容
未実施
未実施

1-(4) 給水装置管理の適正化 P38

	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
年次計画	指定給水装置工事事業者に向けた指導内容の検討									
	→									

実施内容	
R2年度から新指針を策定し運用中	

1-(5) 鉛製給水管解消への取組の強化 P39

	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
年次計画	鉛製給水管布設状況の調査									
	60.4%	68.3%	76.3%	84.2%	92.1%	100%				
	→						鉛製給水管解消に向けた対策の検討			
	→						→			
鉛製給水管に関する情報提供の強化										
→										

実施内容	
量水器検定満期交換及び給水管漏水調査に併せ実施	
全体数の把握後に検討予定	
指定工事店への周知を実施(研修会代替資料に掲載)	

数値目標	指標の名称	単位	現況	目標値	
			H27	R4	R9
	・鉛製給水管布設件数の調査率 = 鉛製給水管布設調査を行った件数 ÷ 量水器の設置件数 × 100	(%)	44.6	92.1	100
	・鉛製給水管布設替え件数 = 一年間で鉛製給水管の布設替えを行った件数	(件/年)	127	130	130

実施内容	
未調査・不明分17%	
修繕数 91件	

2-(1) 老朽施設・老朽管路の計画的な更新

年次計画	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9		
	老朽施設の更新											
天神原配水池												
抜里配水池												
小川・中平浄水場(統合新設)												
犬間配水池												
その他電気・機械設備												
老朽管路の更新												
3,820m	2,749m	1,745m	1,605m	2,542m	3,512m	2,360m	2,360m	4,481m	3,934m			
数値目標	指標の名称						単位	現況			目標値	
	・管路更新率 =(1年間に更新した管路の延長/管路延長)×100							H27	R4	R9		
							0.9	100年で全て更新が完了するよう、1年あたり1%程度を目標に更新				

実施内容
天神原配水池更新(R1~R3) 配水量容量4,800m³から3,900m³に見直し、3ヵ年計画で配水池を更新中
抜里簡易水道は、R1年度に配水池の整備を完了 小川中平簡易水道はR1年度に浄水場の整備を実施し、R2年度に中平の送配水管を整備
H30年度に予定通り配水池を整備
R2年度 1,885m更新 旧上水道配水区、北部地区の老朽管路を更新

実施内容
(1.885/439)×100 = 0.429 ≒ 0.43% 年度更新目標値を下回っている

2-(2) 施設・管路の耐震化 P41

年次計画	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
	配水池耐震診断									
粟原 石風呂	鶴網	鶴島 二俣								
地下水源施設の耐震化										
南9号水源	阪本配水池	阪本配水池建屋	南7号水源	初倉4号水源	南1号水源					
配水池の耐震化										
神座 相真										
基幹管路の耐震化										
簡易水道地区の管路の耐震化										
15,000千円	15,000千円	15,000千円	15,000千円	25,000千円	15,000千円	15,000千円	15,000千円	15,000千円	15,000千円	15,000千円
島田市民病院周辺管路の布設										
		400m	200m							

実施内容
他工事事業費との調整により、実施時期を修正、検討中
R2年度実施工事なし
神座配水池は更新済、天神原配水池は更新中 相賀配水池はR4から調査を検討中
現在は老朽管路の更新を実施中
給水人口の多い家山地区から計画的に配水管の耐震化を実施 H28 169.5m H29 171.7m H30 175.7m R1 431.4m R2 162.7m
病院建設事業の進捗によるが、R3年度に施工予定

数値目標	指標の名称	単位	現況	目標値	
			H27	R4	R9
数値目標	・配水池の耐震化率 =(耐震対策の施された配水池有効容量/配水池等有効容量)×100	(%)	93.6	98.4	98.6
	・管路の耐震管率(配ポリ含む) =(耐震管延長/管路延長)×100	(%)	12.9	13.3	14.1
	・重要給水施設配水管路の耐震適合管率(配ポリ含む) =(重要給水施設配水管路のうち耐震適合管延長/重要給水施設配水管路延長)×100	(%)	24.6	26.7	41.5
	・基幹管路の耐震管率(配ポリ含む) =(基幹管路のうち耐震管延長/基幹管路延長)×100	(%)	9.7	12.5	17.6

実施内容
主要な配水池の耐震性は確保している R2年度末 (19881/20227) × 100 = 98.3%
R2年度末 (92421/440052) × 100 = 21.0 %
R1年度末 (10764/45984) × 100 = 23.4%
R2年度末 (4181/35169) × 100 = 11.9%

2-(3) 応急給水・応急復旧対策の強化 P43

数値目標	指標の名称	単位	現況	目標値	
			2015	2022	2027
数値目標	・災害対策訓練実施回数 =1年間に災害対策訓練を実施した回数	(回/年)	1	1	1

年次計画	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
	年次計画	BCPの策定とBCPIに基づいた職員訓練の実施								
			BCP策定							
BCPIに基づいた職員訓練の実施										
資機材の確保										
利用者参加型応急給水訓練の実施										
災害用飲料水の確保に向けた広報										
周辺事業者との連携の強化										

実施内容
R2年度水道BCP策定
<ul style="list-style-type: none"> ・非常用給水袋の備蓄 ・応急訓練の実施(給水車両による配水) ・近隣市町と情報交換 ・広域企業団無線訓練(年6回)

実施内容
R2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、訓練中止

2-(4) 湯水対策の強化 P45

年次計画	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	実施内容	
	湯水対策マニュアルの運用と見直し											近隣市町の情報収集
地下水源の定期的な維持管理											未実施	

2-(5) 停電対策の強化 P46

年次計画	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	実施内容	
	自家発電設備燃料の確保											全15設備では、常時、燃料をタンク容量の100%に維持
可搬式自家発電設備の配置検討											未実施	

数値目標	指標の名称			単位	現況	目標値		実施内容	
					H27	R4	R9		
	・燃料備蓄日数 =平均燃料貯蔵量÷一日燃料使用量			(日)	0.5	0.5	0.5	R3.3.31現在、全15設備中の6設備で、燃料備蓄日数は0.5日を達成	

3-(1) 水需要にあわせた施設のダウンサイジング P47

	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
年次計画	今後の水需要に合わせた施設能力の検討									
			見直し・検討					見直し・検討		

実施内容
上水道基本計画により、口径のサイズダウンに基づき布設替工事を実施、R2年度はサイズダウンとした実施路線なし

3-(2) 施設の管理体制の効率化 P48

	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
年次計画	施設台帳システムによる管理の実施									
	施設台帳システムの構築・データ入力・管理・運用									

実施内容
近隣団体情報収集

3-(3) 漏水対策の強化 P49

	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
年次計画	漏水調査の実施									
	老朽管の更新									
数値目標	指標の名称						単位	現況	目標値	
								2015	2022	2027
	・有効率 =(年間有効水量 / 年間配水量) × 100						(%)	89.4	89.8	90

実施内容
R2年度 職員調査を湯日・神座地区で実施
R2年度 1,885m更新 旧上水道配水区、北部地区の老朽管路を更新

実施内容
R2年度 78.9%

3-(4) 事業の統合に向けた取組 P50

	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
年次計画	簡易水道の上水道への事業統合に向けた整備									
	統合認可申									
	簡易水道施設の更新事業									

実施内容
R1末 経営統合及び認可完了
施設整備を実施中

3-(5) 近隣事業体との広域連携に向けた取組 P51

	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
年次計画	広域化に向けた協議への参加									
	→									
年次計画	周辺事業体との将来的な統合に向けた検討									
	→									

実施内容
県主催の広域検討会に参加したほか、近隣二市との意見交換会を実施
大井上水道との将来統合に向けて、合同でグループワークを実施

3-(6) アセットマネジメント及び経営戦略を踏まえた財源の確保 P52

	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
年次計画	アセットマネジメント及び経営戦略の運用と見直し									
				見直し・検討				見直し・検討		
年次計画	適正な水道料金の検討									
				見直し・検討				見直し・検討		

実施内容
R1決算及び今後の事業計画に合わせ、進捗管理と調整
R4.4月改定に向け、審議会開催予定であったが、新型コロナウイルスの影響により、中断

3-(7) 業務の効率化 P53

	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
年次計画	業務委託内容の見直し									
	→									
年次計画	業務のマニュアル化									
	→									

実施内容
R2.10月からの浄水場・料金複合委託契約締結
上記、一括委託時にマニュアル整備を予定

3-(8) 技術力の確保と継承 P54

	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
年次計画	OJTの実施									
	→									
年次計画	外部研修への参加									
	→									
年次計画	外部委託を活用した技術力の確保									
	→									
年次計画	大井上水道企業団との人事交流の検討									
	→									

実施内容
新人職員向けのOJT実施
県、日本水道協会主催の研修等に参加
R2.10月からの浄水場・料金複合委託により確保を図る予定
グループワークを実施(4グループ全職員参加)

3-(9) 広報・広聴の充実 P55

年次計画	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	
	「広報しまだ」や水道独自の広報紙による情報の発信										
	→										
	浄水場見学や浄水講座の実施										
→											
広聴活動の実施											
→											
数値目標	指標の名称						単位	現況	目標値		
								H27	R4	R9	
	・水道の広報紙の発行回数 =一年間に水道の広報紙を発行した回数						(回/年)	0	1	1	
・アンケート実施回数 =水道に関するアンケートを実施した回数						(回)	0	計画見直し時に実施			

実施内容
R2.8月、9月検針時に周知文を配付 市役所モニターを利用した広報活動
R2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、施設見学を中止
計画見直し時に実施予定、R2年度の実施はなし

実施内容
R2年8月、9月検針時に各戸配付(年1回)
未実施

3-(10) 環境に配慮した設備設定及び事業の実施 P56

年次計画	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	
	エコアクション21の実施										
	→										
	浄水発生土・建設発生土の有効利用										
→											
高効率機器の導入											
→											
数値目標	指標の名称						単位	現況	目標値		
								H27	R4	R9	
	・浄水発生土・建設発生土の有効利用率 =(有効利用土量 / 浄水発生土量+建設発生土量) × 100						(%)	100	100	100	

実施内容
電気使用量削減を独自目標として、島田市の方針に基づくエコアクションの活動を実施
R2年度中は、浄水発生土の搬出なし
相賀送水ポンプ場、初倉2号水源の蛍光灯灯具2基をLED灯具に取替

実施内容
R2年度中は浄水搬出はなかったため、数値なし